

第1部についての質問

質問1

イベントが終わると一度切りになっていないか。反省会にも声をかけてほしい。もっと行政と民間の連携を。

●行政と民間の連携には、参加者との温度差をどう埋めるかが課題。そのためにはPDCAが重要になってくる。

質問2

①個々のヒアリングを通じて得られた「共通課題」はなにか？（現場のニーズ）

- コーディネーターの不在
- プロジェクト間の横の連動
- ボランティアとしての参加の限界（手弁当）
- 役場担当者のモチベーション温度差

②その共通課題をどのように解決に導くか？将来のビジョンはあるか？

- 意識の変化以外ない。結局、他の誰かや役場に責任を転嫁していないか。
- 第5次総合計画終了に伴い、今後10年の将来のビジョンを、第6次総合計画で示していく。

③今後、（例として）“まちづくりコーディネーター”たる人材の位置付けをしていく必要があると思うが、そのような可能性はあるか？

●現状、コーディネーターが不在であり、役場では担いきれていないのが事実としてある。昨今、どの分野においても複雑にからみあった問題を解決するために、団体間をつなぐコーディネーターの役割が求められている流れがあり、他分野にも目を向けて、人材探しを検討していく。

質問3

良いプロジェクトは事業化して、OKBからの融資（出資）があっても良いのではないか？

- もちろん、将来的な可能性を可視化できれば融資による事業拡大はありえる。
- あくまでもボランティアの関わりであると、返済の責任は誰が負うのかということになる。事業としての展望を持っているかが重要。

質問4

キャリア教育の進捗状況に 1,000 人参加して 90%が満足した、将来池田町に住みたい人 2%弱とあるが、高いのか低いのか？

- KPI の設定にムリがある。池田町への誇りを醸成できれば成功なのでは。
- 柔軟に KPI の設定変更や数値変更を検討すべき

質問5

現実に中高生の卒業まで池田町に住んでいるのはどれくらいか？

- 不明(卒業に起因する転出数や、住民票の移動を伴わない転出数が把握できないため)

質問6

プロジェクト開始時からのKPI進捗状況詳細の閲覧は可能か？

池田町 HP に掲載中です。

URL : <http://town.gifu-ikeda.lg.jp/0000000011.html>

質問7

アンケートのまとめのなかで、「これからの可能性に期待」とあるが、具体的にはどのような可能性が考えられるのか？

- 地域で活動できる人材と仕組みがある程度整ったという感想を持たれている方がいらっしゃるという事実は重要。人・組織・外部との連携に期待されているのではないか。

質問8

「人口の維持」が大切であると話されたが、町内でも地区によるバランスがあるよう。人口の少ない地区における対策はどのようなことが有力と考えるか？

- 一朝一夕に対策出来る課題ではない。人口が少ない地域はたくさんあり、全部がライバルと考え、地域の魅力は何かを徹底的に議論することが大事。その際、手段の議論になりがちなことに留意。

第2部 各発表への質問

発表① ママカフェ

- ・今後、10名超えの参加実施も考えていただきたいが、予定はあるか？
- ・PR方法として保育園、児童館をタイアップしての企画はしているか？
- 活動内容がマッチングするものであれば、検討していきたい。

発表③ わかも会

ときめぐりについて、特別なPRを考えているか？

- 今後、金山駅での物産展など、イベントでのPRを予定している。

発表⑤ NPO 法人まちづくりネットワーク池田

⑤について、限られた子どもの遊び場になっていないか？他のプロジェクトと協力してはどうか？

- 参加者が固定化してきているのが課題。多くの子ども達に参加してもらえよう、PRをしていく。

発表⑥ 養老鉄道応援団

養鉄に載ったらこんな楽しいよ、こんな便利だよ、というようなことをなにか企画しているか？(残念ながら車がどうしても便利)

- 養老鉄道が、今年、全線開通100周年ということで、100の企画が行われる。講師自身が、今までに関わってくださった方々と一緒に、イベント列車(音楽列車等)を走らせることを企画している。